

第4号議案

平成31年度一般社団法人桶川市観光協会事業計画

1. 基本方針

一般社団法人桶川市観光協会は、桶川市に存する自然、景観、文化、歴史、産業、技術などの地域資源を活用した観光事業の振興を図ります。これにより、桶川市の魅力を高め、人々の交流を促進し、地域文化の向上と地域社会の発展に寄与してまいります。また、市内農・商・工の発展を目指すため、会員をはじめとして行政、関係団体と密接な連携のもと、各種観光事業を積極的に推進してまいります。

また、一般社団法人桶川市観光協会として自立できる団体経営が求められる状況を踏まえ、協会の財政的基礎体力を自前で強化することにつながる新規会員の獲得はもちろん、新たな販売事業の展開等を図ります。

桶川市では、羽田空港までの高速バスの運行開始や首都圏中央連絡自動車道の成田空港までの開通など、交通利便性の向上が図られています。こうした恵まれた地の利を活かした観光客の誘致や、新たな観光資源の発掘等に努めてまいります。

2. 事業計画

(1) 自主事業

ア 中山道に関連する事業

中山道を散策する人たちが増えている現状を考慮し、中山道全国協議会への参加等を通じて、中山道桶川宿の観光PRを進めることにより、更なる観光客の誘致を図ります。

また、歴史ある建物が存する中山道の整備に際しては、整備後も観光施設としての保存・活用が図れるよう、所有者や関係機関等と連携をしてまいります。

イ 中山道宿場館の充実

中山道を散策する多くの観光客の観光案内所、休憩所として、おもてなしの心で対応することを心がけます。また、関係機関と連携を図り、一層の来館者増を図ります。

ウ 中山道を中心とした関東ブロックの連携

中山道にある関東ブロック（東京都の板橋宿から群馬県の松井田宿）の宿場町と連携し、中山道を散策する人たちに中山道宿場町の旬の情報を提供します。

エ ガイドボランティアとの連携による観光の拡充

桶川ガイドボランティアの会と連携し、新たな市内散策・観光コースを作成します。

オ 産業観光の開発

産業振興及び観光の観点から、市内にある見学できる工場等を発掘します。

カ エコツーリズム

エコツーリズムを推進するために研究し、情報発信します。

キ ベに花普及事業

プランターでのべに花の栽培や市内の小中学校と連携して、べに花を市内に咲かせる「べに花の普及事業」を推進します。また、各イベントなどにおいて「べに花の種」を配布し、「べに花の郷 桶川市」のPR促進に努めます。

ク 駅からハイキングの実施

今年は東側・西側各2回、実施します。

6月には「べに花観賞ハイキング」、1月には「開運！日本一の力石と天満神社と山伏寺を訪ねる」の2コースを新コースとして計画し、他のコースも魅力あるコースとして企画をします。

ケ ホームページの充実

旬の情報が提供できるようホームページの充実を図るとともに、その有効活用を図ります。

(2) 観光PR事業

ア オケちゃん

新たなグッズの作成、また、着ぐるみ貸し出しによるPR活動の実施、それに伴うサポーター隊活動の支援を引き続き実施します。

イ イベント参加

「べに花の郷 桶川市」や当協会推奨品、中山道などの観光資源PRのため近隣各市町・県外災害時応援協定市・友好都市等のイベントに積極的に参加します。

ウ ベに花まつり

べに花畑で結婚式を開催し、べに花写真コンテスト表彰式を実施します。

エ ご当地グルメの推進

道の駅の設置をにらんで、桶川産のものを使った新たなグルメの開発を会員と協力して推進します。

オ イルミネーション事業

桶川イルミネーション実行委員会による駅西口ロータリー及びその周辺への設置と、おけがわマイン会によるペDESTロリアンデッキへの設

置を行います。

カ フィルムコミッション事業

映画、テレビ、CM等ロケーションサービスを拡大するため、市と協力してロケ候補地の拡大を進めます。

(3) 推奨品事業

ア ふるさと納税事業との連携

推奨品の販路拡大と市内産業の発展のため、市のふるさと納税の返礼品として、推奨品のより一層の充実を図れるよう進めてまいります。

イ 健康長寿いきいきポイント事業との連携

推奨品の販路拡大のため、桶川市及び桶川市社会福祉協議会と連携して、健康長寿いきいきポイント事業の普及拡大を図ることにより、景品として推奨品を利用していただけよう進めてまいります。

ウ 会員との相互協力により、新たな推奨品の開発を行い、“お土産品”の充実を図ります。

(4) 共催、後援、協賛および助成事業

ア 主な共催、後援、協賛及び助成等の実施

6月15日～16日 べに花まつり

7月15日～16日 桶川祇園祭

11月3日 桶川市民まつり